

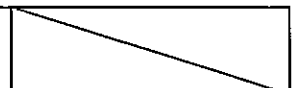
審 議 経 過

(1 / 2)

| | |
|-------------------------------|--|
| 主な内容は次のとおり（○は構成員の発言、●は事務局の発言） | |
| | |
| 1 | 開 会 |
| 2 | あいさつ |
| | 【教育長あいさつ】 |
| 3 | 議 題 |
| | 【座長あいさつ】 |
| | 【座長の司会により進行】 |
| | |
| (1) | 令和4年度事業報告について |
| | 【資料1を事務局説明】 |
| | 【質疑応答】 |
| | なし |
| | |
| (2) | 令和5年度事業計画（案）について |
| | 【資料2を事務局説明】 |
| | 【質疑応答】 |
| ○ | （A構成員）旧半原小学校木造校舎はどのような位置付けになっているか。はく製作製委託について、事業報告には無かったが、継続して行っているのか。 |
| ● | （事務局）旧半原小学校木造校舎については、農具や民具等、収蔵庫に収納できない郷土 |

※主な発言の要旨等、審議経過がわかるように記載すること。

会長（委員長）
署名欄



審 議 経 過

(2 / 2)

資料の保管施設として活用している。そのため、屋根の塗装や窓枠の修繕など、郷土資料保管施設としての機能を損なわないように維持管理している。また、一教室を昭和期の雰囲気再現した「懐かしの学び舎」として整備し、希望者には職員立ち合いのもと、公開している。今年度は、町内6小学校の3年生を対象に、「懐かしの学び舎」教室で郷土資料を活用した昔の暮らしを学ぶ体験教室を行った。

はく製作製委託については、郷土資料館で保管している哺乳類や鳥類などの原資料のうち、貴重なものやはく製化されていない種類を中心に継続的に作製している。

○ (B構成員) 旧半原小学校木造校舎「懐かしの学び舎」での昔の暮らしの体験授業は、子どもたちが当時の暮らしを学ぶ良い機会なので、継続して実施して欲しい。

● (事務局) 貴重なご意見として承りたい。

【座長から会議録の作成方法等について説明】

4 その他

【参考資料を事務局説明】

【質疑応答】

なし

5 閉 会

※主な発言の要旨等、審議経過がわかるように記載すること。

会長(委員長)
署名欄

萩原庸元

愛川町郷土資料館運営協議会構成員名簿

令和4年度愛川町郷土資料館運営協議会
令和4年10月21日(金)

(敬称略)

| No. | 氏名 | 選出区分 | 出欠 |
|-----|------|-----------------|----|
| 1 | 萩原庸元 | 町社会教育委員 | 出席 |
| 2 | 山口勇一 | 町文化財保護委員 | 出席 |
| 3 | 井上真彰 | 町小中学校校長会代表 | 出席 |
| 4 | 大貫英明 | 学識経験者(歴史・考古学) | 出席 |
| 5 | 浜田弘明 | 学識経験者(博物館学) | 出席 |
| 6 | 田口公則 | 学識経験者(地質学・古生物学) | 出席 |